明治41年1月14日 第3種郵便物認可

2023年(令和5年)

5月22日(月)

北國新聞社

©北國新聞社 2023年 https://www.hokkoku.co.jp

水 2 土 4

午後、日·祝

〒920-8588 金沢市南町2番1号 番号案内(076)263-2111 富山本社 番号案内(076)491-8111 〒930-8520 富山市大手町5番1号

### 第107回高校相撲金沢大会



島)の福崎真逢輝を送り出した。切られた。決勝は五十嵐が樟南

「ロシアを最後の侵略国に」

攻を長期化させ、

長期化させ、核兵器、3面に関連記事】

2

加藤梨生が県勢で唯一、3回

当戦に進ん 金市工の

準決勝で姿を消した。

目立っていた。

ト製の観客席をベンチに変更、

大規模改修により一新 され、大勢の観衆で沸 き返る金沢市の石川県

里デスクと

田天主将が選手宣誓

新聞社社長があいさつ、

開会式では、大会長の砂塚隆広北國

高岡向陵が3位

生まれ変わった相撲場のこけら落と

が決勝で五所川原農林(青森)を破って優勝し、津幡南 2年連続準優勝で臨んだ金沢学院大 約1万人 (主催者発表) 31面に関連記事】

中〇Bの2年・高島一人が先鋒を務めた高岡向陵が3位に入った。

附はベスト16で敗退した。

個人は高岡向陵の五十嵐翔が制

の観衆が熱闘に沸いた。団体は箕島(和歌山)

刊130年記念・第107回高校相撲金沢大会 (北國新聞社など主催)

大改修を終えた「聖地」に全国6校が集り、

## 広島 でゼ

サミット)

閉幕後に広島市で記者会カ国首脳会議(G7広島

侵攻を受けたウクライ

続準優勝の金沢学院大学

土俵は熱気で包まれた。

-ツ界最古の歴史を誇る卯辰の



花束を手に原爆慰霊碑への献花に向かう岸田首相(左)とウクラ イナのゼレンスキー大統領 =21日午後、広島市の平和記念公園

27日 (土) 28日 (日) 29日 (月)

芸術祭は3週間延期 自衛隊車両100 台提供 3 おくやみ 18、19 地鳴り

30日 31日 (火) (水)

購読・試読・転居のご連絡は

御遠忌法要に100

社説北陸の歴史の道

わびして訂正します。 正4年から続く伝統」 おわび

に田中さんエッセー

波記者

21日付の時鐘で「大正1 の誤りでした。 とあるのは

2023.5.22

から戦争をなくさないと と、その後の平和が夢だ」

けない」と強調。

「ロシアのプロパ

解されるよ ンダに対抗

つ努力する」

バイデン米大統領ら

ウクライナの立場が

対する勝利

レンスキー

氏は「ロシア

園にある広島国際会議場

際社会に向けて幅広い支 かせ威嚇を繰り返す中、

のように感じられた▼熱戦が終わって あまった石川県卯辰山相撲場が劇場 手の気迫と応援が渾然一体となり、新 手の気迫と応援が渾然一体となり、新 瞬が卯辰の歴史を紡いでいく。 る側は惜しみない拍手を送る。 とうございました」と感謝する。迎え選手が応援席にやってきた。「ありが

が館も訪問し、公園内の原父を展開して協力を求めい。ゼレンスキー氏は積極

# 侵略国になるように」と訴」と強調した。「ロシアがいる。必ずこのような復興

に向け「日本の技術に期

いない。巨漢に立ち向かう地元勢も大いない。巨漢に立ち向かう地元勢も大に迫力が増す。背中を押される選手に迫力が増す。背中を押される選手「押せ押せ」。仲間の大声援で吹奏楽「押せ押せ」。仲間の大声援で吹奏楽 きな勇気をもらったことだろう▼たく は明される。原理では一つでは、これではつきもの。コロナ禍で抑えられていた声援が卯辰山に響えられていた声援が卯辰山に響いたがりでは、「行け行け」とは胸を熱くする▼「行け行け」とは胸を熱くする。「できる」と 応援にもある。 高校相撲金沢大会の醍醐味は

を3-

年の第51回大会以来、

2度目の優勝を

伝統の黒鷲旗を手にした。

街になってい

る。

いる」と述べ

(広島は)今は平和な

ノ東部の激

れた時に見た写真に似て 地バフムトについて「原

6 能登島ゴルフ アンド カントリークラブ

 
 22日(月)
 %は降水確率
 23日 24日 25日 26日

 6時-9-12-15-18-21-24 (火) (水) (木) (金)
Ⅲの5☑時々 21 17 40% 30% 30% 30% 30% 21 16 40% 30% 22 18 40% 30% 30% 30%

17 14 23 14 24 16 24 17 25 18 26 18 27 19 26 20 22 18

22日午前9時の予想天気図 【概況】北陸地方は

気圧の谷や湿った空 気の影響を受ける。 石川県内は日も差す 雲が広がりやす 黄砂に注意。



## 木造の新しい選択肢。

店舗・事務所・倉庫・医療福祉施設・保育園・アパートなど鉄骨造が一般的だった大規模建築を木造で。

木造建築の新しい選択肢、「テクノストラクチャー」。木造でありながら柱の少ない開放的な 大空間を、「木」と「鉄」のハイブリッド複合梁「テクノビーム」で3階建、延床面積3,000㎡まで 対応可能です。みづほ工業は建築物の木造化を推進し、地球温暖化の防止や循環型社会の 形成、そしてカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。



建築工期の短縮

建物の軽量化

大空間の木造建築





建築コストの削減

高い耐震性と耐久性

設計自由度の高さ